

## 自分についてのアンケート（記述）

H27.5.25 実施

### 問6 あなたの良いところはどんなところですか？

- ・家のお手伝いをする。9人
- ・一生懸命勉強をする。努力する。7人
- ・人のいいところをほめることができる。2人
- ・人に優しくできる。17人
- ・人のために何かしてあげることができる。7人
- ・友だちの悩みを聞いてあげることができる。2人
- ・いつも元気でよく遊ぶ。笑顔で生活する。その場の雰囲気を明るくする。親や先生に怒られてもよくよしない。細かいことを気にしない。明るい性格 24人
- ・得意なことがある。24人
  - サッカー 絵画 料理 鉄棒 スイミング 空手 ピアノ 習字 野球 ゲーム 掃除 テニス そろばん 英語 料理 バレー
- ・友だちがわからなかったり、できなかつたりすることを教えてあげることができる。4人
- ・声が大きいところ。3人
- ・弟妹の面倒を見る。動物の面倒を見る。5人
- ・いろいろなことを最後までがんばることができる。3人
- ・友だちと仲良くできる。2人
- ・物を欲しがらない。2人
- ・人の話を良く聞く。
- ・食べ物の好き嫌いをしない。7人
- ・負けず嫌い。
- ・毎朝、早起きできる。
- ・挨拶ができる。8人
- ・責任感がある。5人



執行部のランニングマンに拍手喝采！

### 問8 あなたのあまり良くないところはどんなところですか？

- ・忘れ物やもの忘れ、宿題忘れが多い。責任感がない。続けて取り組めない。14人
- ・規則正しい生活ができない。朝起きられない。夜更かしをする。9人
- ・場面を考えずふざけてしまう。余計なことを言うてしまう。14人
- ・ボーッとしてしまうことがある。人の話を聞いていない。4人
- ・苦手なことや教科がある。算数 字が下手 絵画 運動 15人
- ・友だちや兄弟とけんかをしてしまう。すぐにきれてしまう。5人
- ・人に迷惑をかけてしまう。まわりのことが考えられない。17人
- ・人に優しくできない。人の悪口を言う。性格が悪い。4人
- ・すぐものを欲しがる。ものを大事にしない。6人
- ・人の期待に応えられない。
- ・短時間に決定できない。迷ってしまう。3人
- ・同じ失敗を繰り返してしまう。3人
- ・言葉遣いが悪い。
- ・食べ物の好き嫌いが多い。
- ・ちょっとしたことでよくよする。
- ・自分の言いたいことがはっきり言えない。挨拶ができない。声が小さい。5人
- ・身の回りの整理整頓ができない。3人
- ・うそをついてしまう。



ピリーフを歌う2年生女子



料理女3人組

包丁さばきもバッチリ羽塚さん

読み聞かせに夢中の1年生

頑張れ自分！

宝小学校だより

# ななさと

宝小学校学校だより  
NO8

平成27年7月1日(水)  
文責 小保 一夫

## 自己肯定感を育てたい Part2

### 自分のことを好きでいるために！

「ななさとNO2」にも書きましたが、学校では子どもたちの自己肯定感を高めたいという考えに立ち、様々な取り組みを行う際には、必ず学年としての目標や自分の目標を設定して取り組ませ、必要に応じて軌道修正を行いながら、子どもたちを支援・指導してきています。そして、一つの取り組みのあとには、子どもたちの感じている達成感や満足感と合わせて、「この取り組みに対して自分はどのくらい頑張っただろうか？今日の自分はけっこう頑張ったぞ！」というような自尊感情の高まりを振り返って子ども自身が自己評価をしています。5月に、宝小学校児童の自己肯定感の現状を把握するために、「自分についてのアンケート」を実施しました。結果は学年ごと裏面に掲載してあります。そのアンケートから気になる点については、次のような内容があげられます。

- ①全校のほとんどの児童が「自分のことを好き」である。
  - ※6年生は75%の子どもの「自分が嫌い」という結果で自己肯定が低い。
- ②自分は学校や学級の中、家庭において、必要とされている。
  - ※6年生は60%の児童が自分は必要とされていないと思っている。
- ③ほとんどの児童は「目標に向かって努力をしている。」と答えている。
- ④50%程度の児童は、人前で話すことに苦手意識を持っている。
- ⑤90%以上の児童は、「自分のまわりには頑張っている友だちがいる」と感じている。
- ⑥自分のことをわかってくれたり、困ったときに相談にのってくれたりする人がいるか？という問いに対しては、70%～80%の児童がいると答えているが、逆に20%～30%の児童は「いない」と答えている点がとても気になる。
- ⑦「話しかけてくれる人がいなくて悲しいことがある。」と感じている児童も全体の20%程度おり、気がかりである。

学校では、これから様々な行事や取り組みを通して「頑張った自分が好きになれるよう」子どもたちの頑張りを認め、励ましていきたいと思えます。ぜひ、ご家庭におきましても、子どもたちの頑張った事実だけを認めてあげてほしいと思えます。そこに、「他者との比較」や「今後の期待」などは入れずに、正確に分析・評価してあげることが大切であると考えます。

さて、「自分のことを好きと感じる心」のことを「自尊感情」と言います。これは、心身の健康を保つためにとっても大切なものです。人は、誰でも生まれつき変わらない性格を持っているものです。子どもの頃の性格は、大人になってもあまり変わらないのではないのでしょうか。子どもの頃「負けず嫌い」だった人は、大人になっても「負けず嫌い」であり、子どもの頃「のんびり」だった人は、大人になっても「のんびり」ではないのでしょうか？これは、ほとんど生まれつき決まっている性格で、一生付き合っていく性格であるとも言われています。

また、性格には、人それぞれに「好き・嫌い」があります。例えば、独自の発想のできる人は、芸術家や発想力を必要とする仕事の才能があるといわれます。しかし、まわりとの強調という面では、努力が必要という弱点もあります。

つまり、これを「自分らしさ」だと受け入れられればいいのですが、「こんな自分は嫌だ。」と考え、自分の性格を変えようとする人もいます。しかし、なかなか変えられず、「何でできないんだ。自分はやっぱりダメな人間なんだ。」と思うようになり、「自尊感情」は低下していくのです。

この自分らしさは、あなた本来の良さであり、こんな時には、変えるのではなく、上手に付き合っていくことが大切なんだと考えられると、「自分を受け入れ、そのことを責めなくてもいい。」と思えるようになってくるのではないのでしょうか。自己肯定感を高めるための一つの方法として、「自分を理解して、受け入れる」ことが大切であると思えます。

### お子さんの本来の良さを受け入れてあげていますか？



不審者対応訓練「助けて～！」